

関西大学通信 第310号

平成15年(2003年) 7月15日
大阪府吹田市山手町3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は10月10日発行の予定です

関西大学の セミナーハウス

飛鳥文化研究所・植田記念館

(奈良県高市郡)
豊かな自然に囲まれた日本古代史の宝庫、明日香の静寂景勝の地にあります。周辺には、特別史跡石舞台古墳などがあり、飛鳥史跡見学や万葉散歩には最適な場所です。

【利用範囲】 本学教職員、学生、生徒等
【料金】 1泊1,580円。食料は、朝食530円、昼食630円、夕食1,200円。

高岳館 (大阪府高槻市)

吹き誇る3000本の桜、鮮やかな新緑・紅葉など、季節の彩りが楽しめる摂津峡近くにありま。本年度、施設の一部がリニューアルされ、畳敷和室での懇親会も開くことができるようになりました。

【利用範囲】 本学教職員、学生、生徒等
【料金】 1泊1,580円。食料は、朝食470円、昼食580円、夕食1,120円。

白馬梅池高原ロッジ

(長野県北安曇郡)
自然豊かな長野県の北部、梅池高原に位置し、周辺の温泉は、宿泊客以外にも楽しめる。また、ゴンドラ、リフトを利用して「梅池自然園」に行くと、ニッコウキスゲ、クルマユリなどの美しい高山植物の咲く遊歩道を散策することができます。

【利用範囲】 本学教職員、学生、生徒、校友等
【料金】 1泊2,630円。食料は、朝食630円、夕食1,580円。

彦根荘 (滋賀県彦根市)

日本最大の湖、琵琶湖のほとりに位置し、窓からは琵琶湖の刻々と変わりゆく景色を眺めることができます。敷地内にあるテニスコートで汗を流したあとは、近江牛を堪能するのもいいでしょう。

【利用範囲】 本学教職員、学生、生徒、校友等
【料金】 1泊1,580円。食料は、朝食500円、夕食2,300円。

六甲山荘 (兵庫県神戸市)

六甲山の自然豊かな山腹にあり、神戸港や六甲アイランドの夜景を一望しながら、イタリア料理(コース料理)を味わうことができます。また、周辺にはオープンしたばかりの六甲ガーデンテラス、六甲高山植物園が散在し、ハイキングに最適です。

【利用範囲】 本学教職員、学生、生徒、校友等
【料金】 1泊1,580円。食料は、朝食500円、夕食2,000円・3,500円。

問い合わせ先

飛鳥＝教育後援会
☎ (06) 6368-0055 (ダイヤルイン)
その他＝事業課
☎ (06) 6368-0297 (ダイヤルイン)

セミナーハウス

物語



学生時代の四年間に、二月ほどの長期休暇が合計八回やって来る。これをどのように主体的に使うかによって、一生の宝となるような学生時代の思い出の質と量決まるのかも知れない。集中してアルバイトに精を出す期間を定め、その資金で旅行スケジュールを立て、図書館に通って数冊の体系書や長編古典に挑む期間も設ける。そんな時間と空間の使い方を考えてほしい。同時に、一人ではなくセミやサクルの仲間と、普段のキャンパス生活を離れた、時間と空間の共有をも計画してほしい。そんな計画にもってこいの施設が、低料金で豪華な各地の関大セミナーハウスである。

六甲山荘

神戸・大阪の夜景を堪能



六甲山荘の夜景を堪能

私達のセミが関西大学六甲山荘を訪れたのは去年の九月中旬でした。まだまだ残暑が厳しい時期だったのですが、さすがに六甲山の山頂近くに位置しているだけに、涼しいので、夜景はさくらあつて、過ごしやすかったです。私達がこのセミ合宿で掲



げた一番の目的は「親睦を深めること」であつたため、スケジュールは、山荘に到着し、夕食をとり、その後全員で一つの部屋に集まり懇親会を行うというものでした。夕食は三種の中からお好きなものをというシステムで、私達は「しゃぶしゃぶ」を選びました。とても美味しかったです。また夕食時にいただいたいたたきビールは、全員が口を揃えて「今まで飲んだビール

白馬梅池高原ロッジ

大満足！とにかく行くべし

昨年のまだ暑さの厳しい八月に東京学芸大、桜美林大の三大学合同の合宿で、白馬梅池高原ロッジを初めて利用させていただきました。これは、白馬の駅に到着し、電車を降りてまず初めに感じたことは関西の残暑とは異なる涼しさ、清々しさでした。しかし運気味だったため、その余韻に浸る間もなく車に乗り込み、他大学の待つ梅池高原ロッジに向

かわなければなりません。車内から外の景色をみて、その想像とおり、両側を木々に囲まれた道がずっと続き、なんとも言えないのどかさや伝わってくるのでした。そしてロッジに到着、内外を見て私を含め、みんな目を疑いました。なんと、非常にきれいなところで、かなり低料金です。建物には期待せず、あまり



明るくきれいな館内

もう一つ期待してなかったのが食事です。どうせ、トルコ食品の寄せ集めだろうと思つて、カップめんなどを大量に持参したのですが、食事は非常においしく、ボリュームもかなりあり、こんなにいい食事は、量もあつたら、太つてしまふわあ」と嘆いていた

社会学部

四年次生
石原 佑治

（経済学部 四年次生 田中 規夫）



私達の研究室では卒業研究の打ち合わせと、それに

飛鳥文化研究所・植田記念館

荘厳・静寂のたたずまい

して健康と無事卒業できることを祈願したのち、益田岩船まで歩きました。そのまふ山の牛子塚、岩屋古墳とガイドマップのコースに記載されていなくて古墳群を探索しながら飛鳥駅まで歩きました。その後、朝晩を越えて、その心算で所要時間は約五時間。自然に満ち満ちた明日香路をひたすら歩いてやっと辿り着いた宿舎は、まさしく古の桃源をほうふつとさせる感じがします。



静かな環境で研究発表

員の方々と、荘厳かつ静寂な研究所のたたずまいです。この心安まる雰囲気のおかげで行う勉強会は非常に活発で、これからの研究の礎になります。そのあとは毎年懇親会を開き、これによって先生方と院生、学生が互いに親交を深め合ひ、今後の研究への意欲を高めます。明日香における二日間は一学期の研究の成功を占う意味でも非常に価値がありますが、私達の研究室の行事はこれの研究所なしでは語ることができません。大学院工学研究科博士課程前期課程／修士課程／材料工学専攻 緒方 裕之



今月の表紙



編集後記

今大学で「キャリアデザイン」が重要なキーワードとなっている。これは、どのような職業人生を送るかを学問に考え、計画できるようにすることである。かつては大学を出れば一流企業に就職できた。定年まで安定した人生が送れた。そのような時代には大学は良き教養人であるべきを学生に求めることで事足りた。しかし、変化の時代といわれる現在、卒業などの節目で適職を選択し、人間関係を含め仕事上の生活をうまく設計出来ることが重要になってきた。英会話や情報処理など職業スキルや情報リテラシー、また公的資格を取得することもその助けになるだろう。しかし基本は大学の教育、研究を通して専門能力を身につけて、得意分野でコンピテンスを高めることにある。(室山勝彦)